

7 ビューティフル・ウィンドウズ運動

-
- (1) 「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況
 - (2) 「花のビュー坊プレート」の認知状況
 - (3) 治安が改善していることの認知
 - (4) 居住地域の治安状況
 - (5) 区内の治安が良いと感じる点
 - (6) 区内の治安が悪いと感じる点
 - (7) 治安対策として区に力を入れてほしいこと
 - (8) 駐車時の鍵かけ状況
-

7. ビューティフル・ウィンドウズ運動

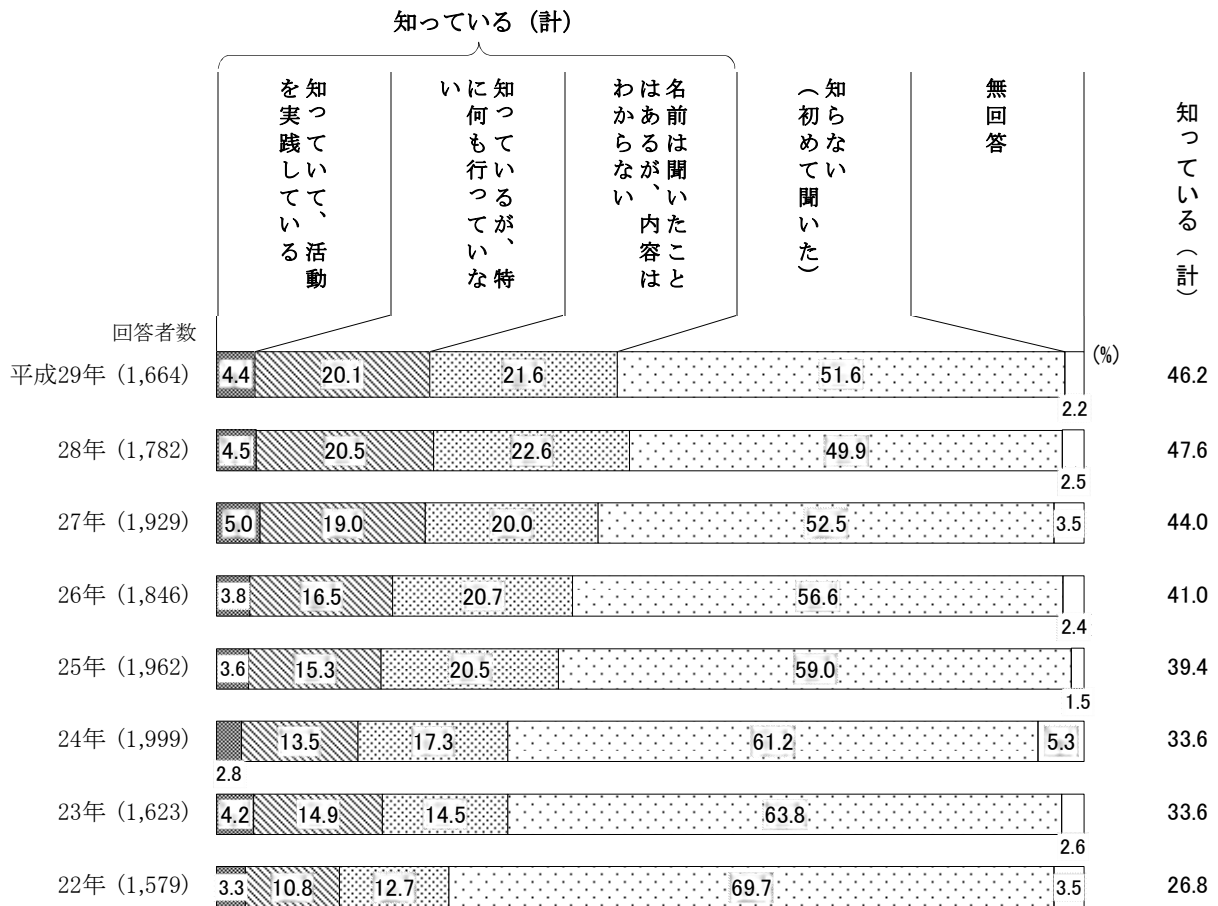
(1) 「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況

■ 【知っている】が4割台半ば

問27 あなたは、足立区が取り組んでいる「ビューティフル・ウィンドウズ運動（※）」という取り組みを知っていますか（○は1つだけ）。

※ 「ビューティフル・ウィンドウズ運動」とは「美しいまち」を印象付けることで犯罪を抑止しようという足立区独自の運動です。区は、警視庁や区民のみなさんと協働して、まちの美化活動や防犯パトロールなどの取り組みを推進し、犯罪のない住みよいまちの実現をめざしています。

図7-1-1 経年比較／「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況



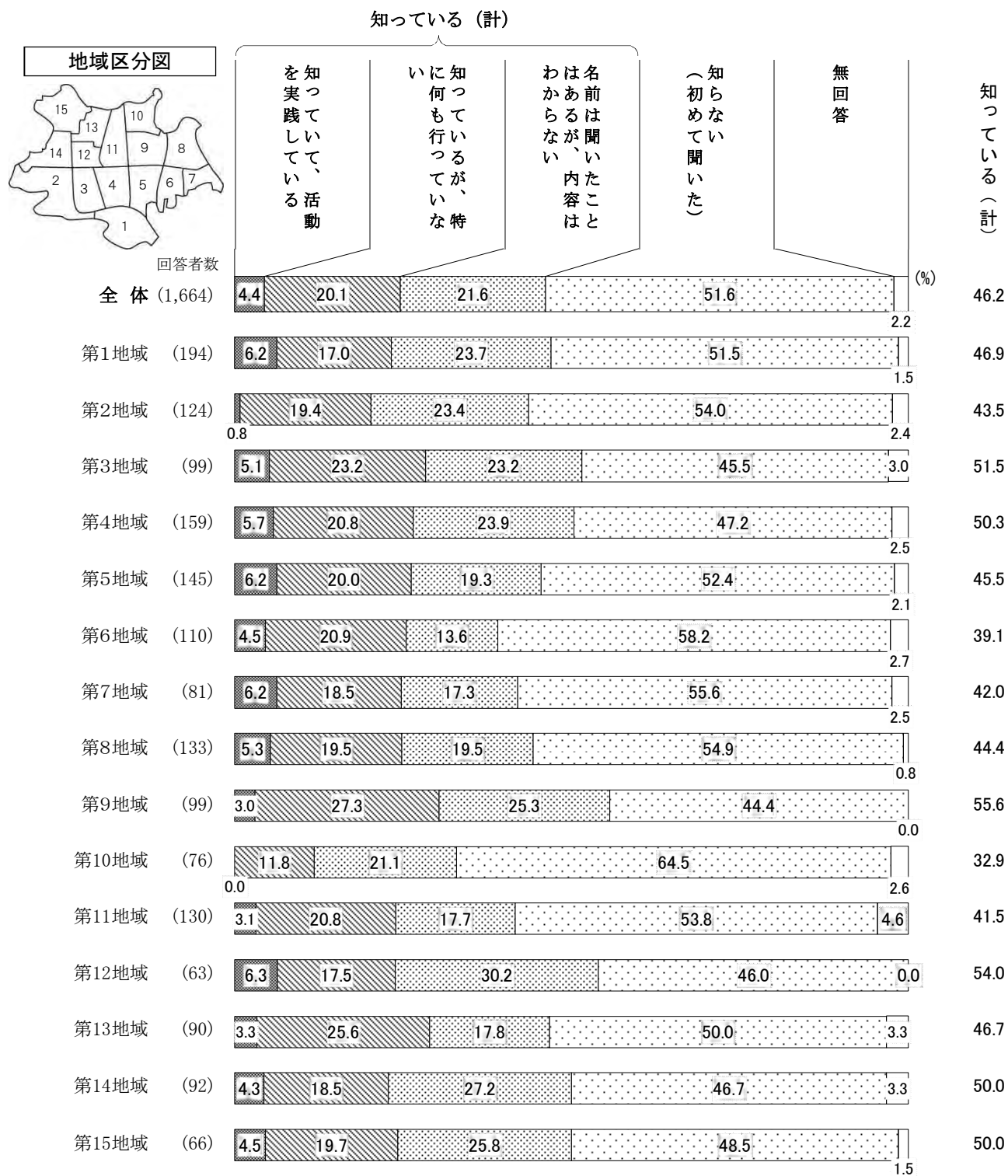
「ビューティフル・ウィンドウズ運動」について、「知っている、活動を実践している」は4.4%で、これに「知っているが、特に何も行ってない」(20.1%)、「名前はあるが、内容はわからない」(21.6%)を合わせた【知っている】は46.2%となっている。

経年でみると、平成28年と比べて、【知っている】はほぼ横ばいとなっている。

第3章 調査結果の分析 〈ビューティフル・ウィンドウズ運動〉

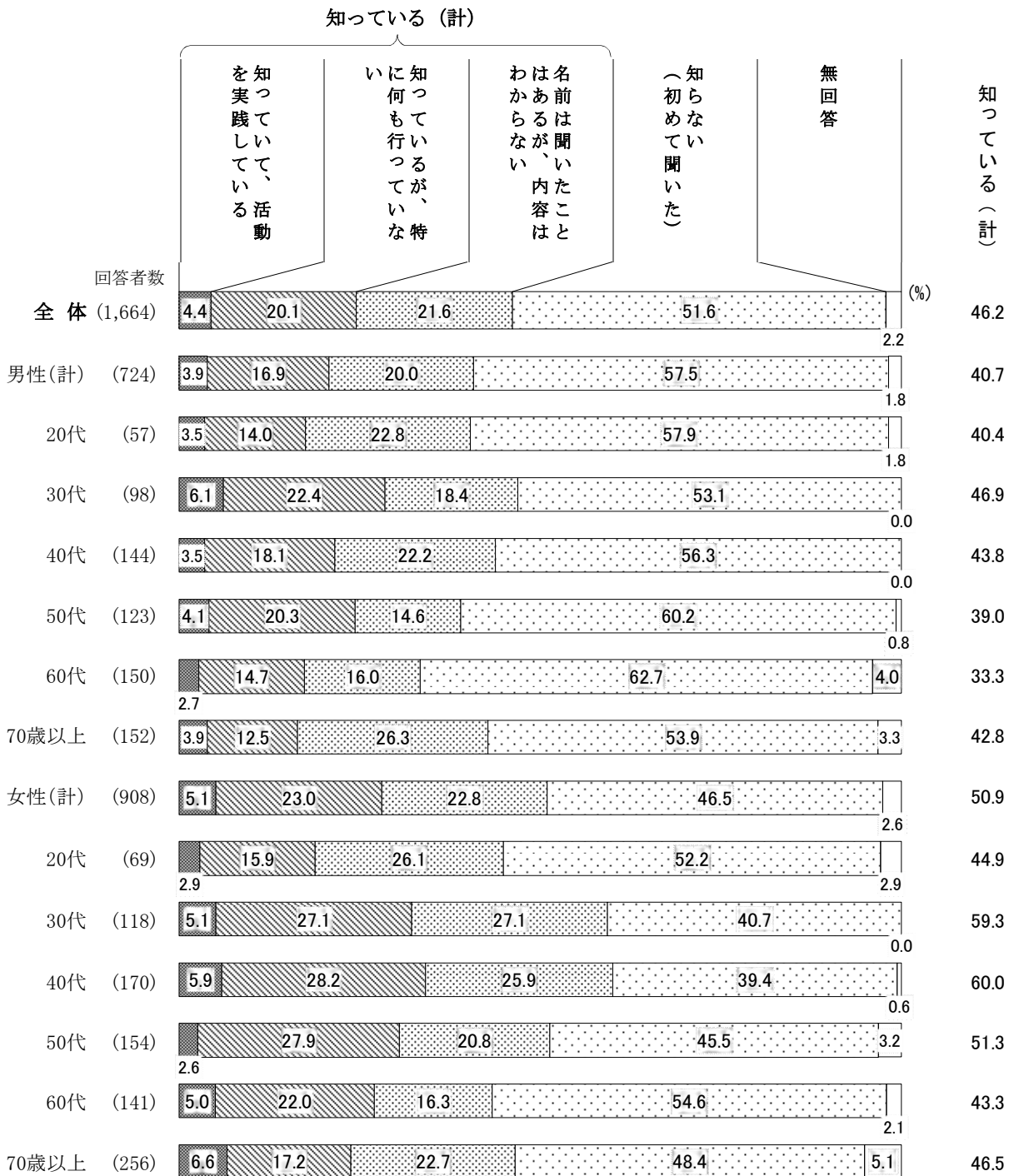
地域別でみると、第3地域、第4地域、第9地域、第12地域では【知っている】が、いずれも5割を超え、他の地域に比べて高くなっている。

図7-1-2 地域別／「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況



性別で見ると、【知っている】は男性40.7%、女性50.9%と、男性より女性が高くなっている。
 性・年代別で見ると、男性では、30代、40代で【知っている】が4割台半ばとなっている。
 女性では、30代、40代で【知っている】が6割前後となっているほか、50代でも5割を超えている。

図7-1-3 性別、性・年代別／「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況

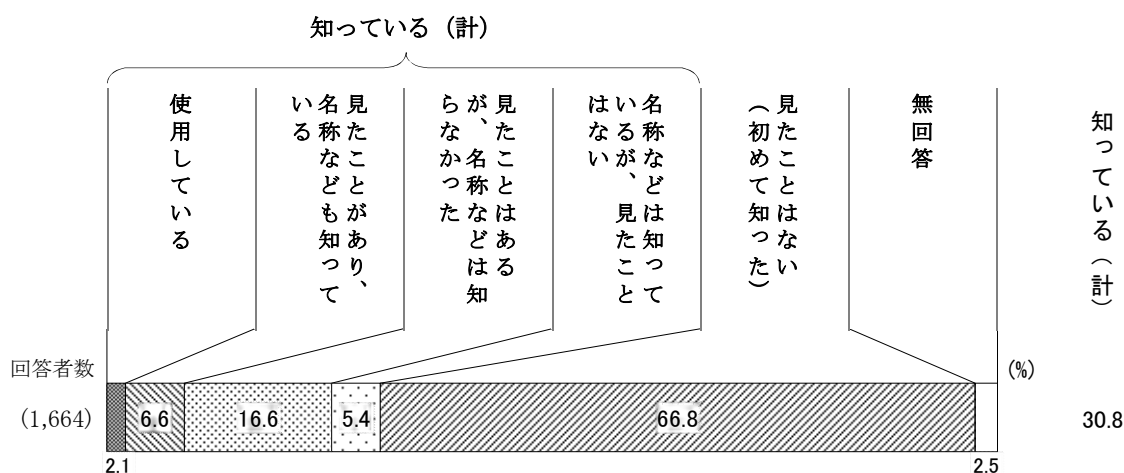


(2) 「花のビュー坊プレート」の認知状況

■ 「見たことはない (初めて知った)」が6割台半ば

問28 あなたの行動範囲で「花のあるまちかど事業」の『花のビュー坊プレート』を見たことがありますか (○は1つだけ)。
 ※ 「花のあるまちかど事業」とは、玄関先や店先で鉢植えやプランターを飾ったり、公園や公共施設などの花壇で花を育てることにより、まちを彩ることと、花の手入れを行う際の人の目で犯罪を抑止しようとする事業です。植木鉢などに『花のビュー坊プレート』をさして、事業をアピールしています。

図7-2-1 「花のビュー坊プレート」の認知状況



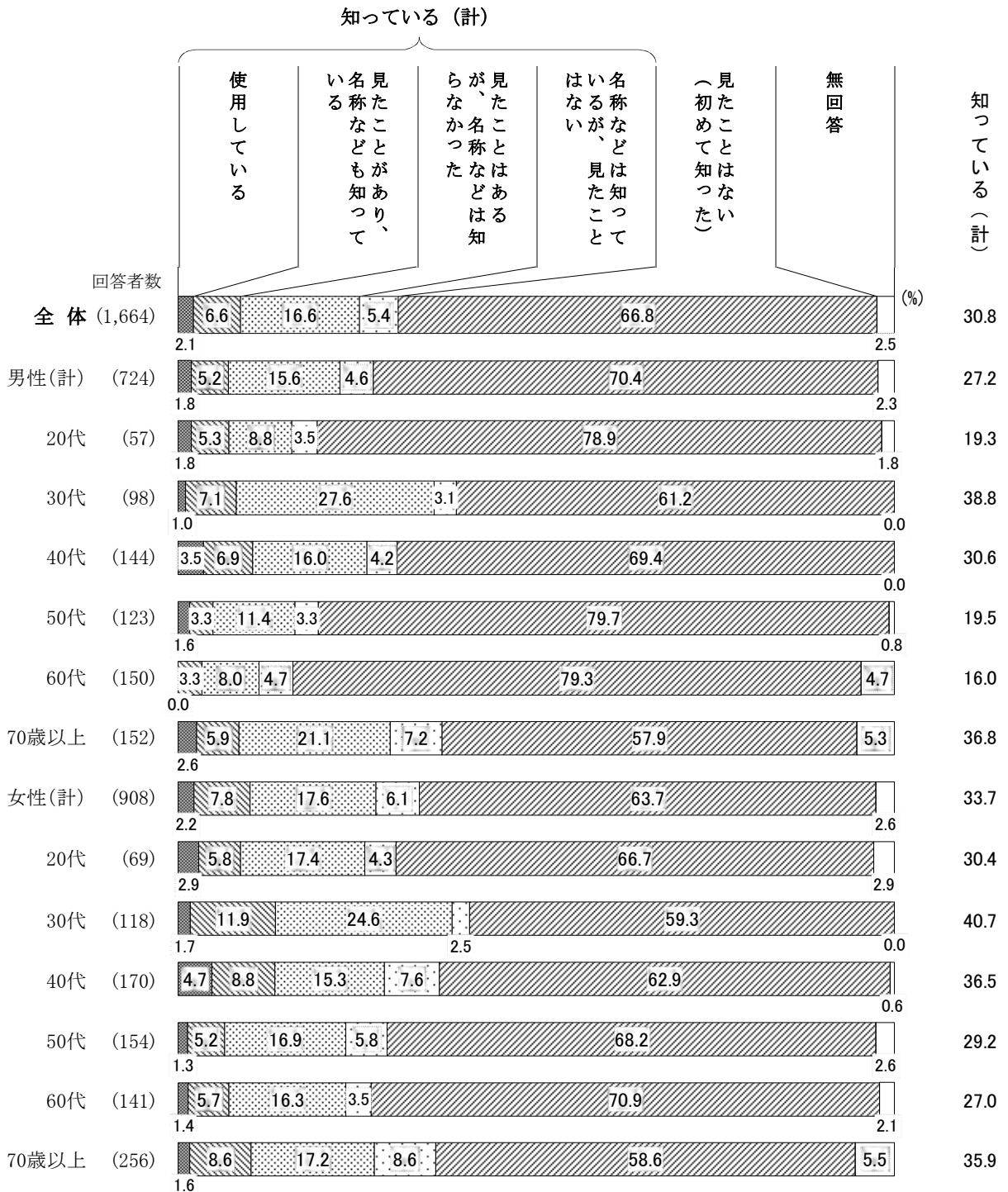
『花のビュー坊プレート』を「使用している」が2.1%で、これに「見たことがあり、名称なども知っている」(6.6%)、「見たことはあるが、名称などは知らなかった」(16.6%)、「名称などは知っているが、見たことはない」(5.4%)を合わせた【知っている】は30.8%となっている。一方、「見たことはない (初めて知った)」は66.8%となっている。

性別でみると、女性では【知っている】が33.7%と、男性（27.2%）より高くなっている。

性・年代別でみると、男性では、30代、40代、70歳以上で【知っている】が3割を超え、とくに30代では38.8%となっている。

女性では、30代で【知っている】が40.7%となっているほか、40代、70歳以上でも3割台半ばを超えている。

図7-2-2 性別、性・年代別／「花のビュー坊プレート」の認知状況



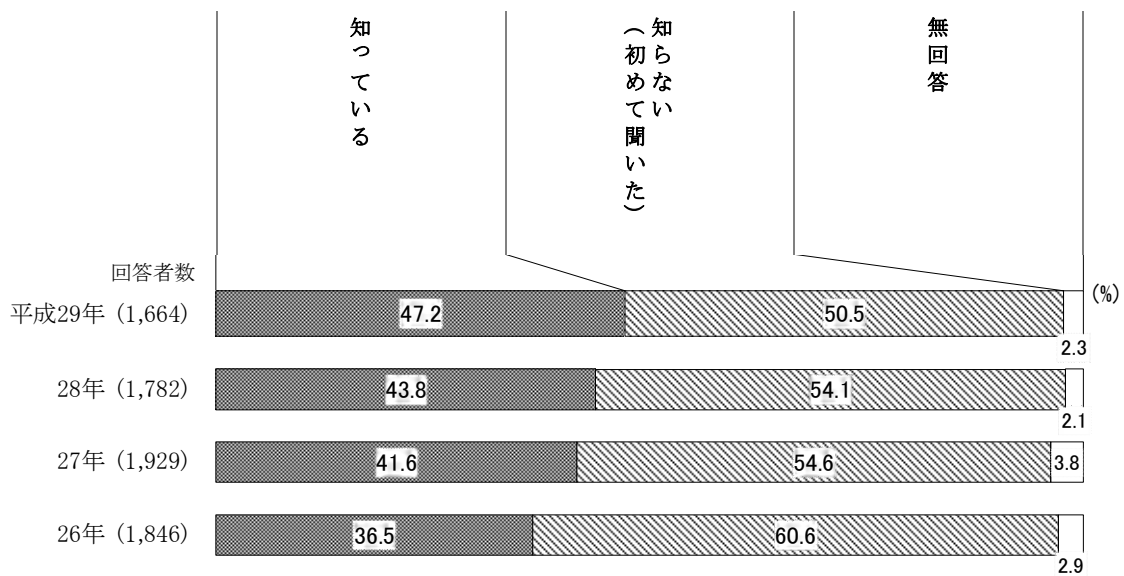
(3) 治安が改善していることの認知

■ 「知っている」が4割台後半で増加傾向

問29 あなたは、平成28年の足立区内の刑法犯認知件数（※）が減少し、治安が改善していることを知っていますか（○は1つだけ）。

※ 警察が犯罪について、被害の届出などによりその発生を確認した件数。ただし、交通違反などを除きます。

図7-3-1 経年比較／治安が改善していることの認知

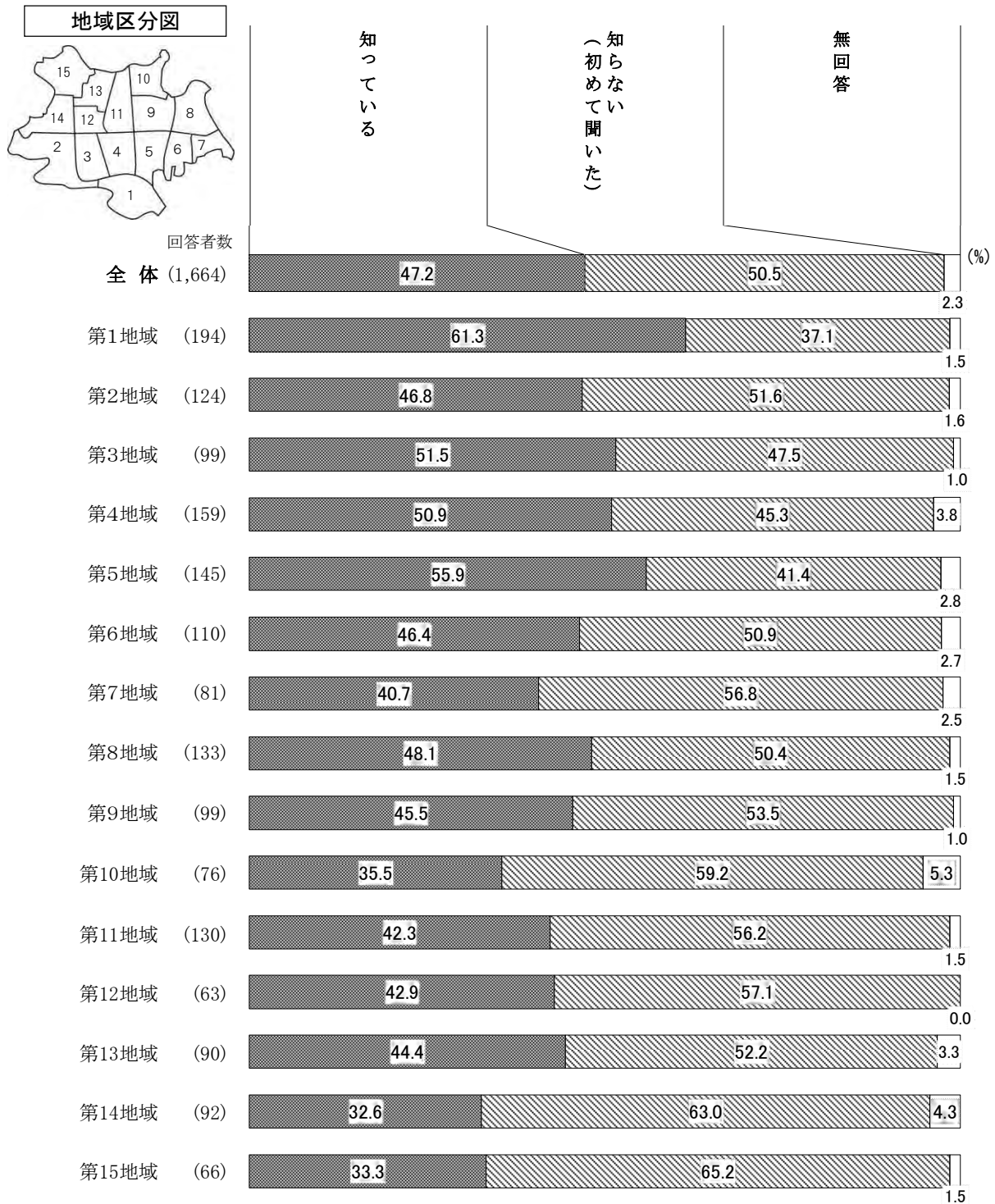


足立区内の刑法犯認知件数が減少していることを「知っている」は47.2%である。一方、「知らない」は50.5%となっている。

経年でみると、平成28年度の調査と比べて、「知っている」が微増している。

地域別でみると、第1地域では「知っている」が61.3%と高くなっているほか、第3地域、第4地域、第5地域でも5割を超えている。一方、第14地域、第15地域では「知らない」が、それぞれ63.0%、65.2%と、他の地域に比べて高くなっている。

図7-3-2 地域別／治安が改善していることの認知



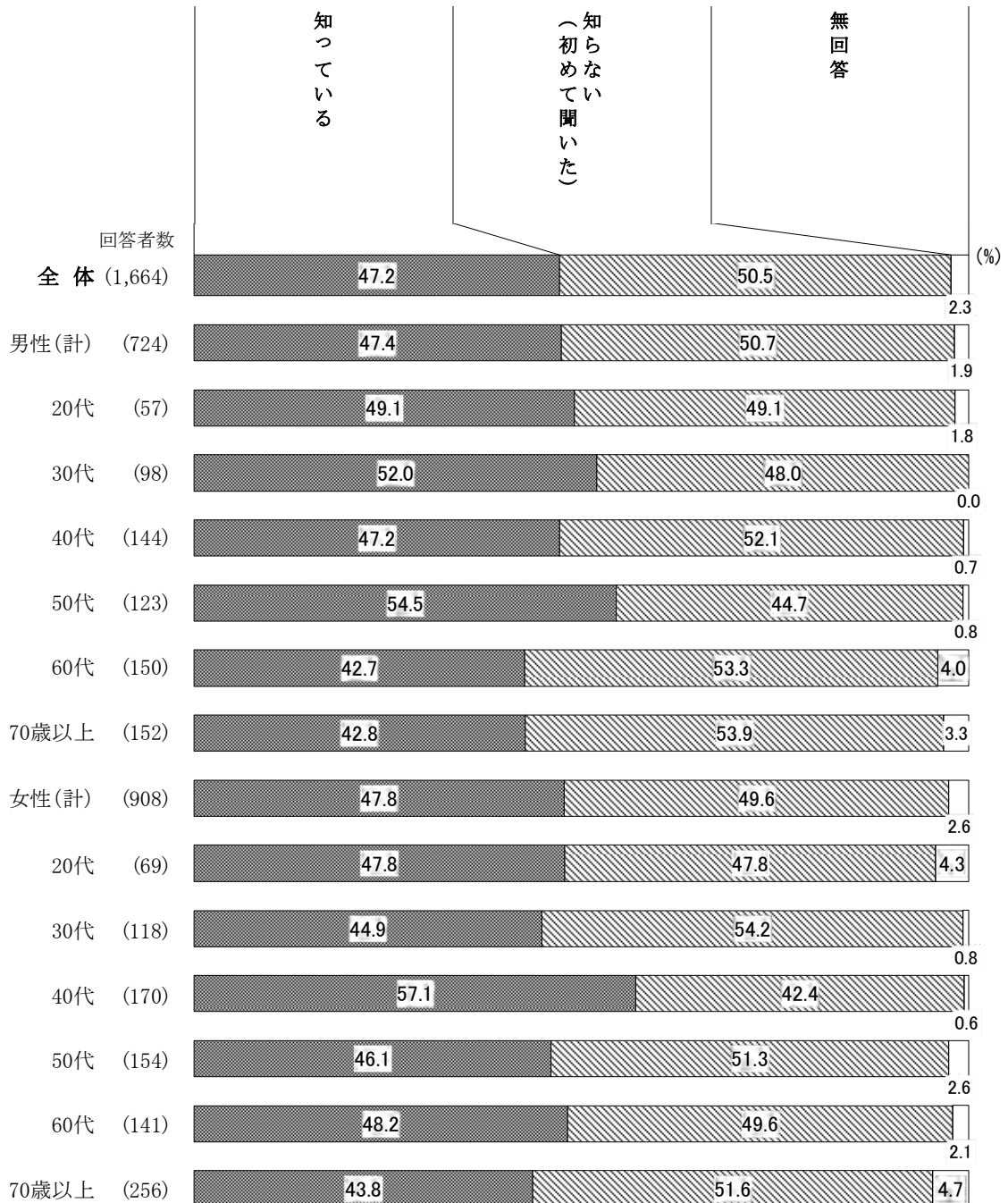
第3章 調査結果の分析 〈ビューティフル・ウィンドウズ運動〉

性別でみると、「知っている」は男性47.4%、女性47.8%となっている。

性・年代別でみると、男性では、30代、50代で「知っている」が、それぞれ52.0%、54.5%と、5割を超えている。

女性では、40代で「知っている」が57.1%と6割近くを占めているほか、他の年代でも4割を超えている。

図7-3-3 性別、性・年代別／治安が改善していることの認知

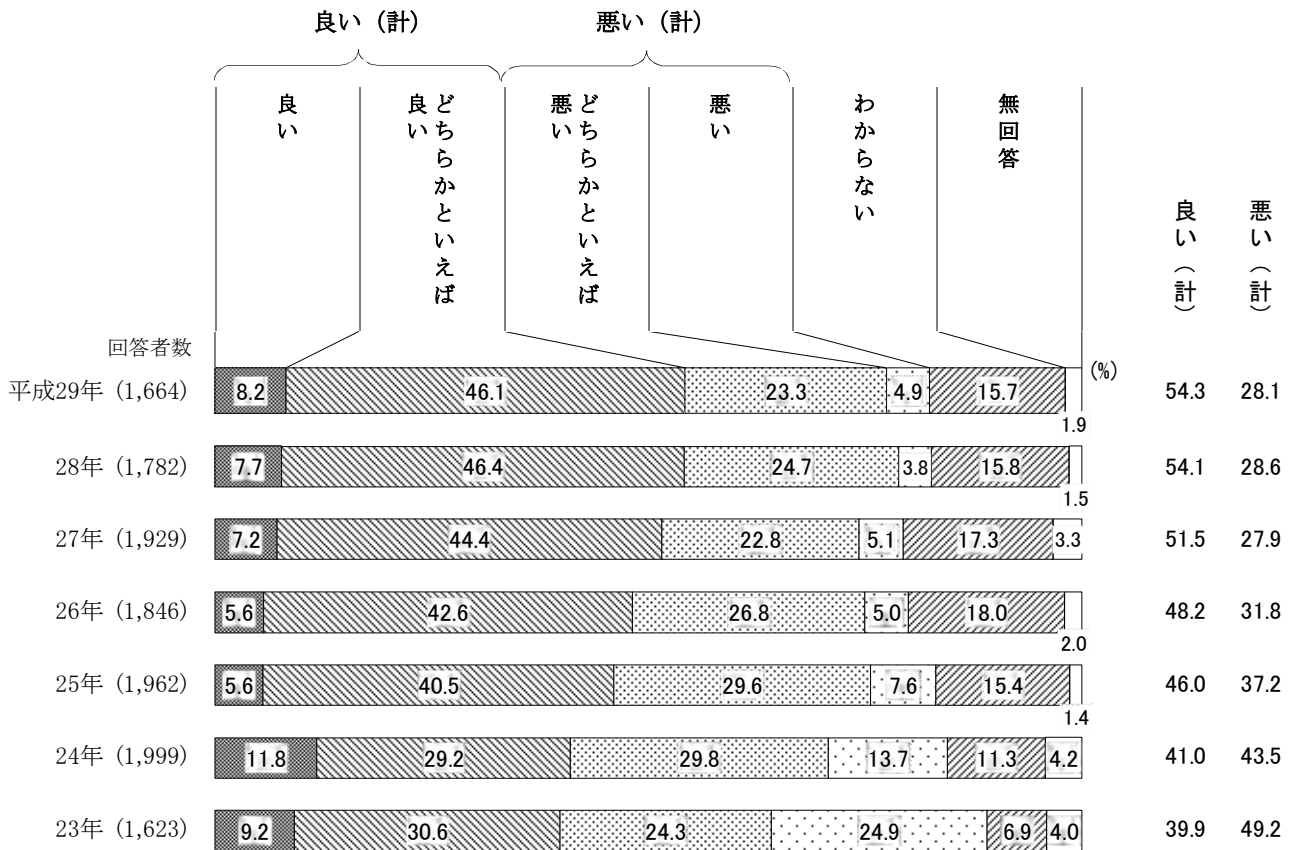


(4) 居住地域の治安状況

■ 【良い】は5割台半ばで、年々上昇している

問30 あなたは、お住まいの地域の治安（※）について、どのように感じていますか。
 （○は1つだけ）
 ※ 犯罪が少なく、世の中の秩序が保たれている状態のことです。

図7-4-1 経年比較／居住地域の治安状況



住んでいる地域の治安について、「良い」が8.2%で、これに「どちらかといえば良い」の46.1%を合わせた【良い】は54.3%である。一方、「どちらかといえば悪い」(23.3%)と「悪い」(4.9%)を合わせた【悪い】は28.1%となっている。

経年でみると、今回は【良い】が54.3%と、平成28年の54.1%を0.2ポイントと僅かながら上回り、平成23年以降、増加傾向が続いている。

第3章 調査結果の分析 〈ビューティフル・ウィンドウズ運動〉

地域別でみると、【良い】は第1地域で71.6%と最も高く、以下、第4地域（59.1%）、第7地域（56.8%）の順となっている。一方、第6地域、第12地域では【悪い】が、それぞれ36.4%、38.1%と、他の地域に比べて高くなっている。

図7-4-2 地域別／居住地域の治安状況

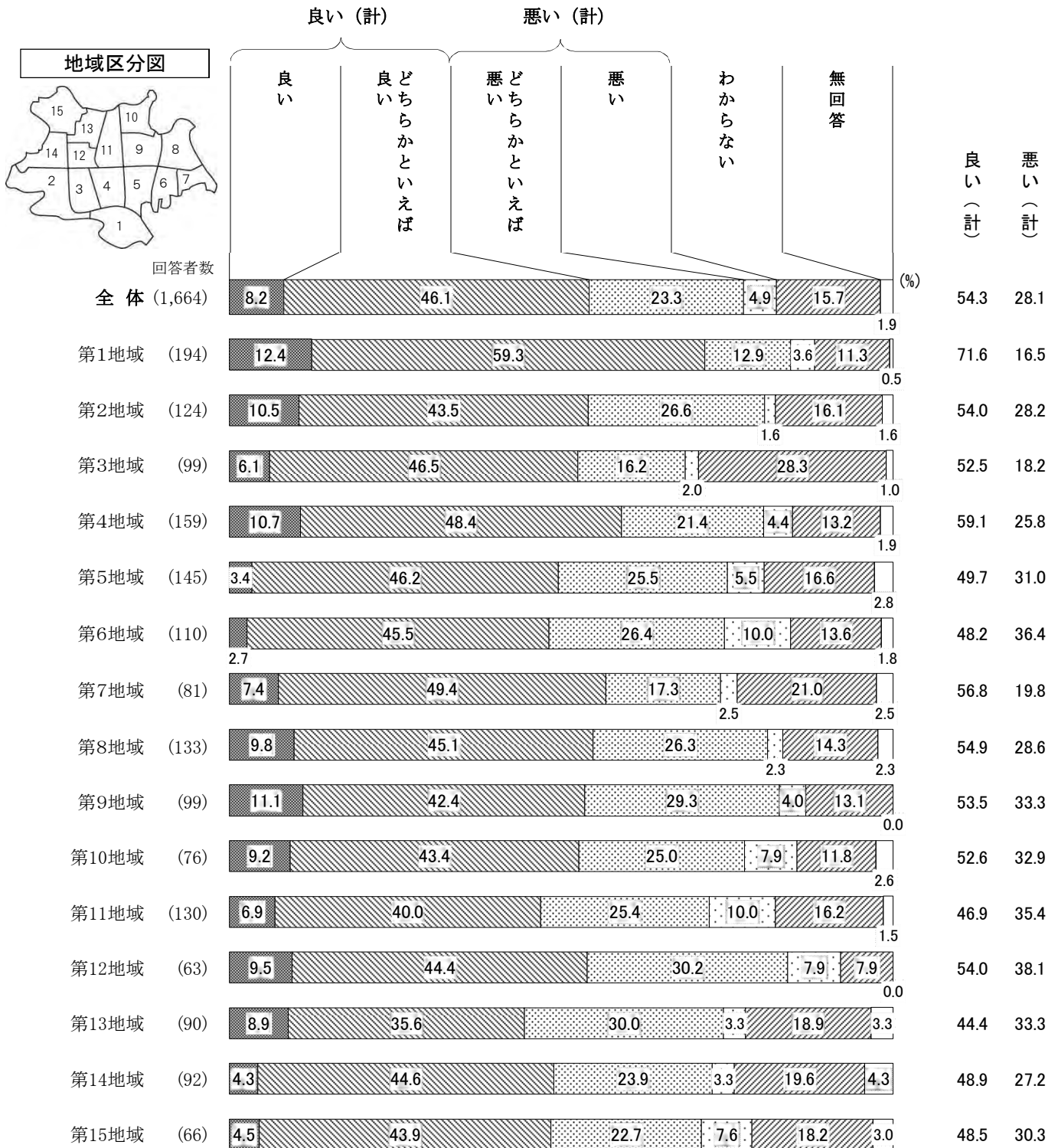
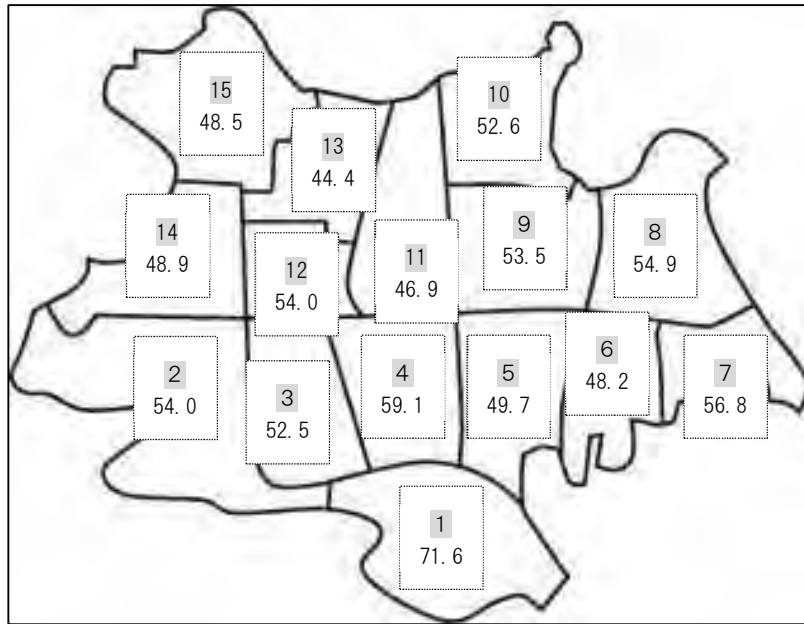
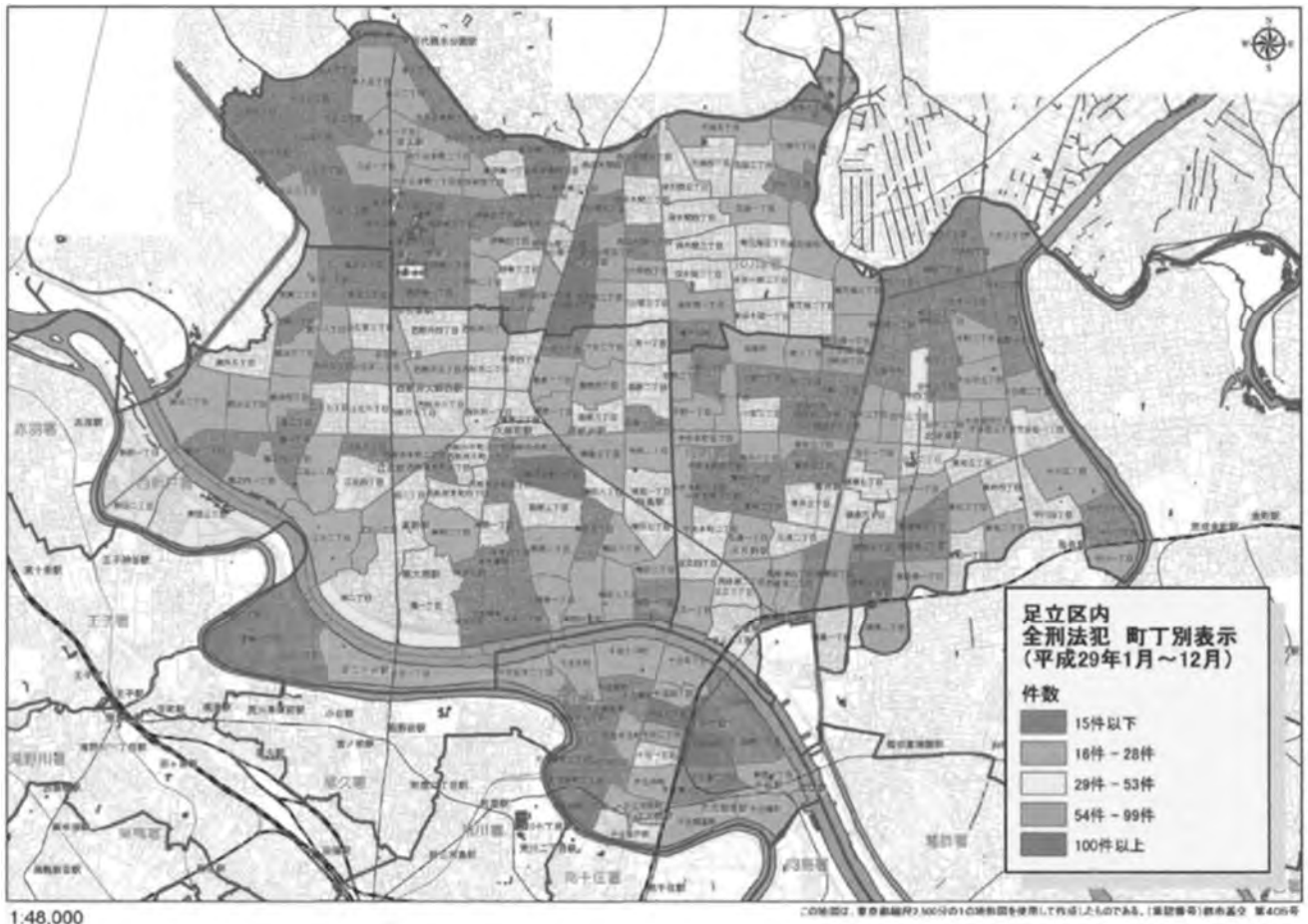


図7-4-3 地域区分図／居住地域の治安状況
 (上段：地域番号、下段：治安が【良い】と答えた回答者の割合%)



【参考資料】区内全刑法犯認知件数

警視庁作成の資料によると、北千住、西新井、竹の塚、綾瀬の駅周辺で刑法犯認知件数が多くなっている。全件数のうち自転車盗が全体の約4割を占めており、自転車の駐車が多い地域の件数が多くなる傾向がある。



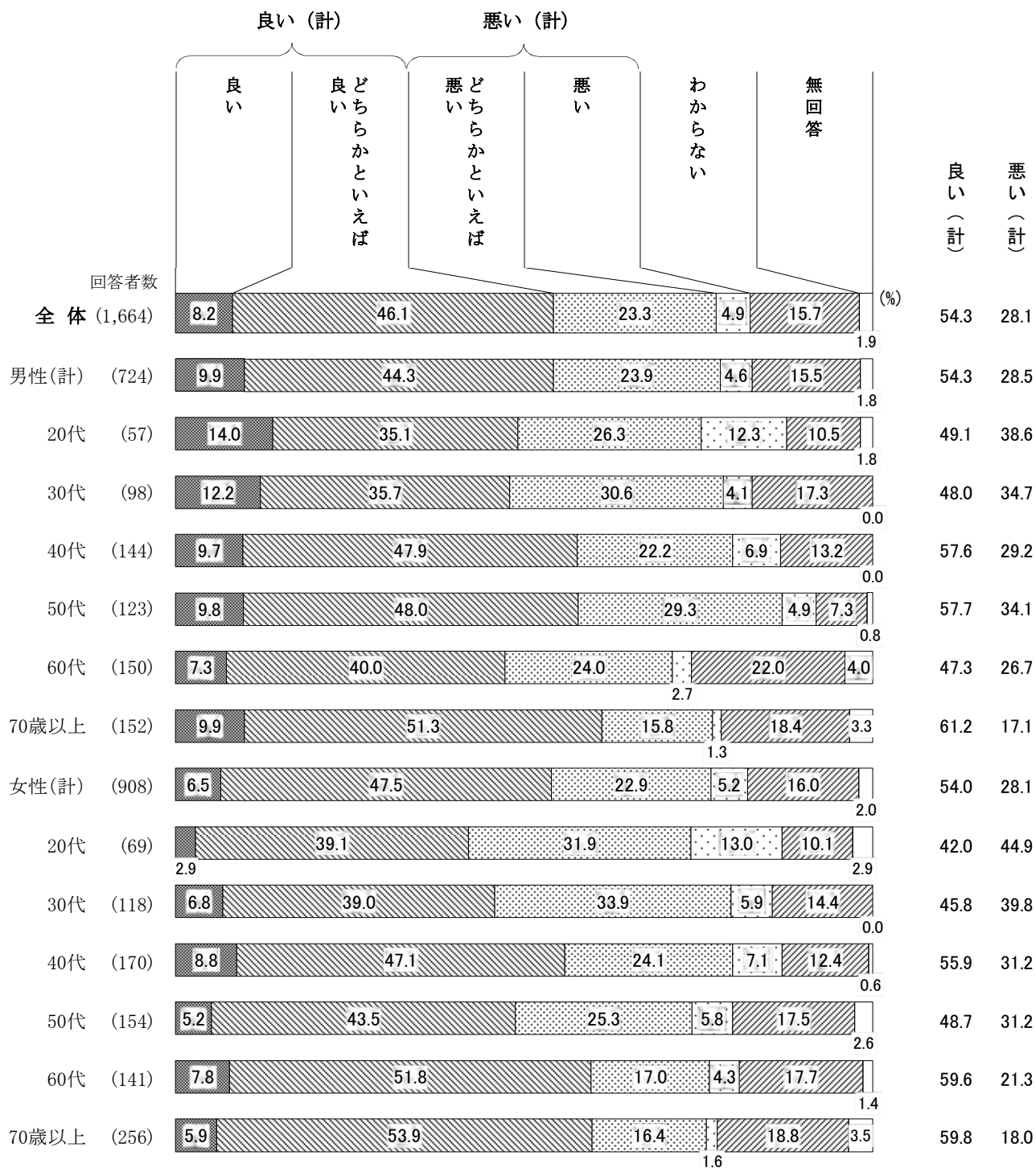
第3章 調査結果の分析 〈ビューティフル・ウィンドウズ運動〉

性別でみると、【良い】は男性54.3%、女性54.0%となっている。

性・年代別でみると、男性では、70歳以上で【良い】が61.2%と6割を超えているほか、40代、50代でも5割台半となっている。

女性でも、60代、70歳以上では【良い】が6割近くを占めているほか、40代でも5割台半ばとなっている。

図7-4-4 性別、性・年代別／居住地域の治安状況



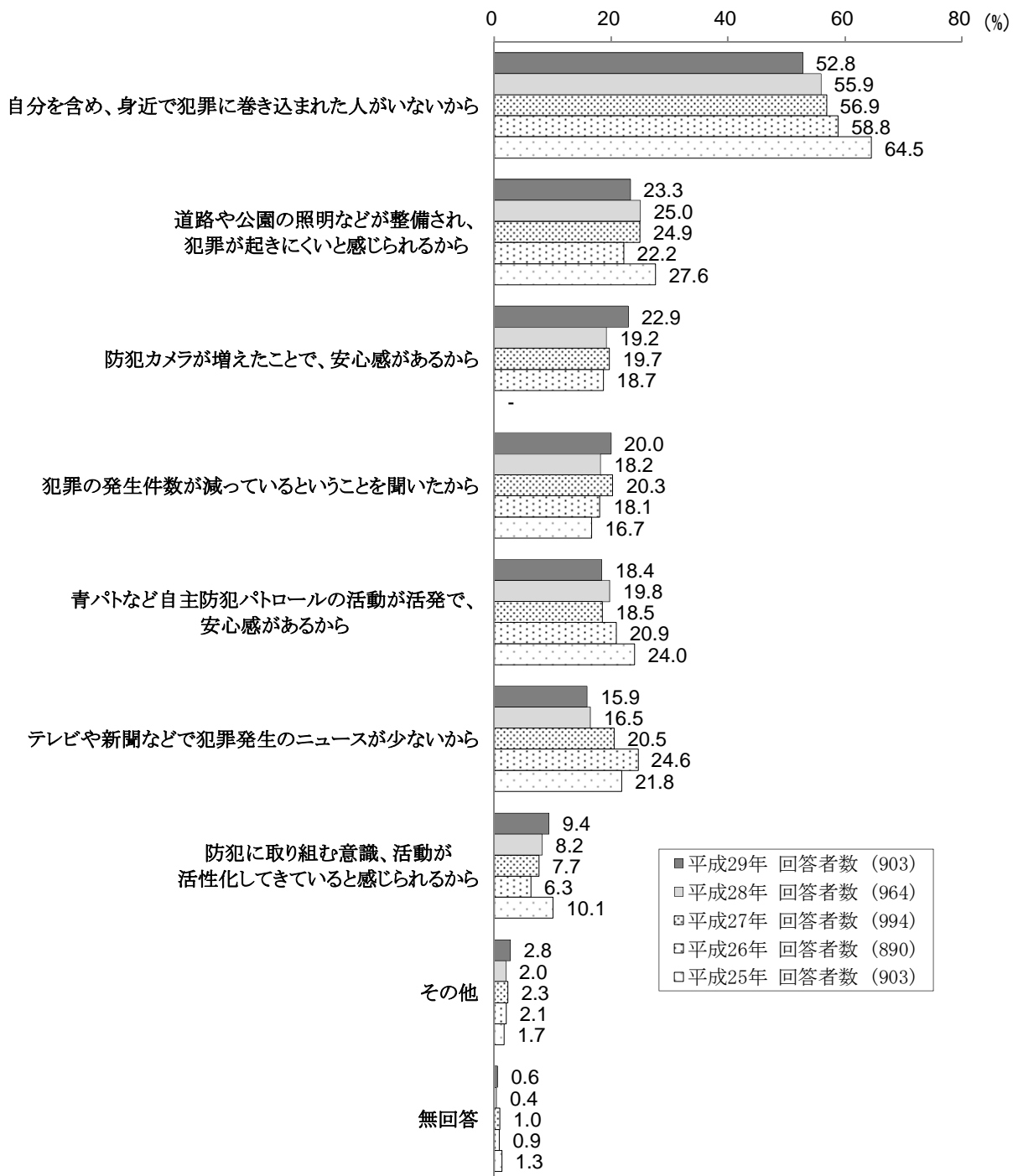
(5) 区内の治安が良いと感じる点

■ “犯罪に巻き込まれた人がいないから”が5割前半で突出も、減少傾向

問30で「1. 良い」、または「2. どちらかといえば良い」とお答えの方に

問30-1 どのような点で治安が良いと感じますか（〇は2つまで）。

図7-5-1 経年比較／区内の治安が良いと感じる点



※「防犯カメラが増えたことで、安心感があるから」は、26年度新設。

※「防犯に取り組む意識、活動が活性化してきていると感じられるから」は、25年度では「区全体の防犯に取り組む意識、活動が活性化してきていると感じられるから」。

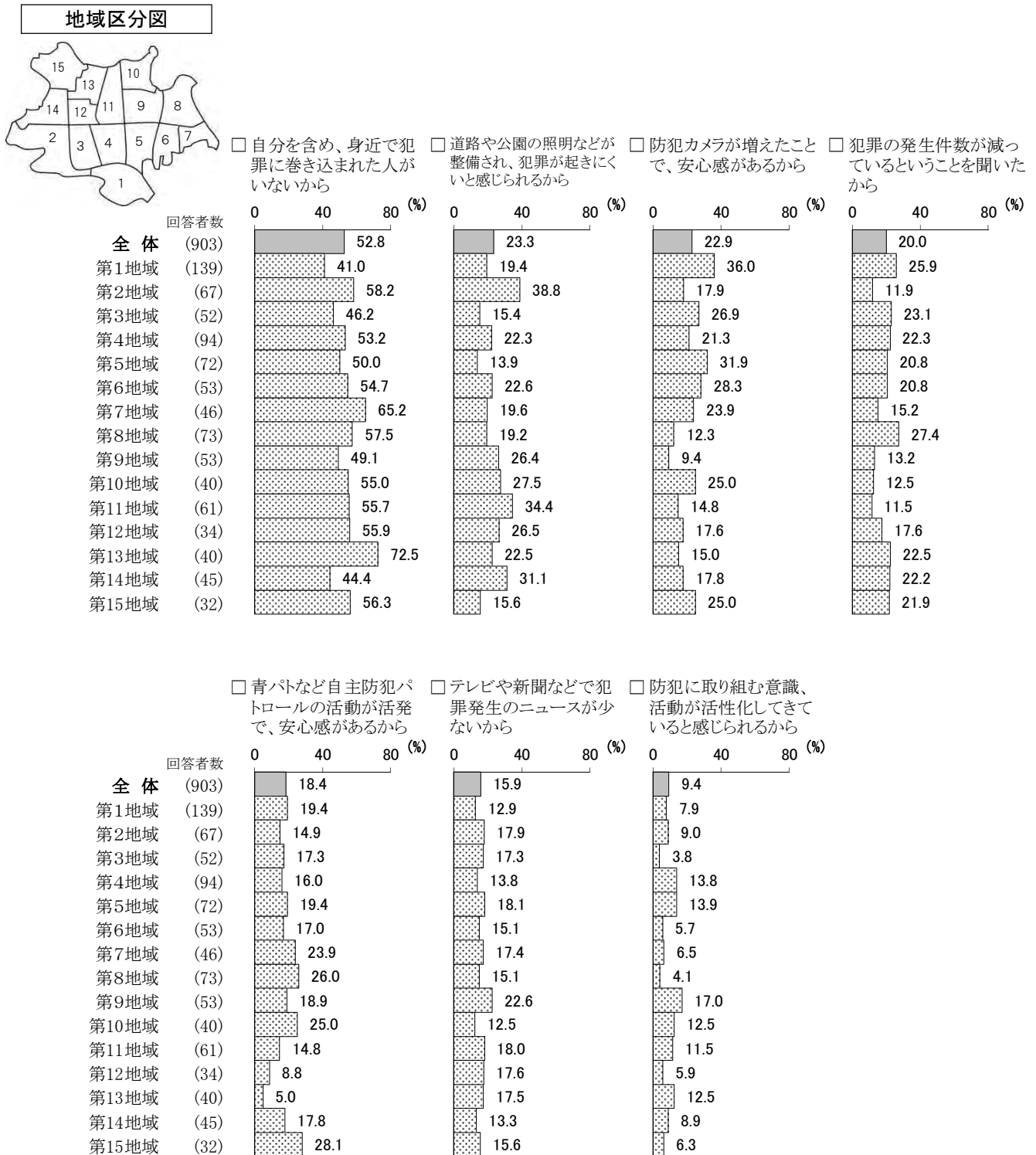
第3章 調査結果の分析 〈ビューティフル・ウィンドウズ運動〉

【良い】と評価した人に、その理由を聞くと、「自分を含め、身近で犯罪に巻き込まれた人がいないから」が52.8%で最も高く、以下「道路や公園の照明などが整備され、犯罪が起きにくいと感じられるから」(23.3%)、「防犯カメラが増えたことで、安心感があるから」(22.9%)の順となっている。

経年でみると、「自分を含め、身近で犯罪に巻き込まれた人がいないから」は今回52.8%で、平成28年の55.9%より3.1ポイント低くなっており、平成25年以降の減少傾向が続いている。

地域別でみると、「自分を含め、身近で犯罪に巻き込まれた人がいないから」は、第7地域、第13地域で、それぞれ65.2%、72.5%と、他の地域より高くなっている。「道路や公園の照明などが整備され、犯罪が起きにくいと感じられるから」は、第2地域、第11地域で、それぞれ38.8%、34.4%と高くなっている。また、「防犯カメラが増えたことで、安心感があるから」は第1地域で36.0%と、全地域中最も高くなっている。

図7-5-2 地域別／区内の治安が良いと感じる点

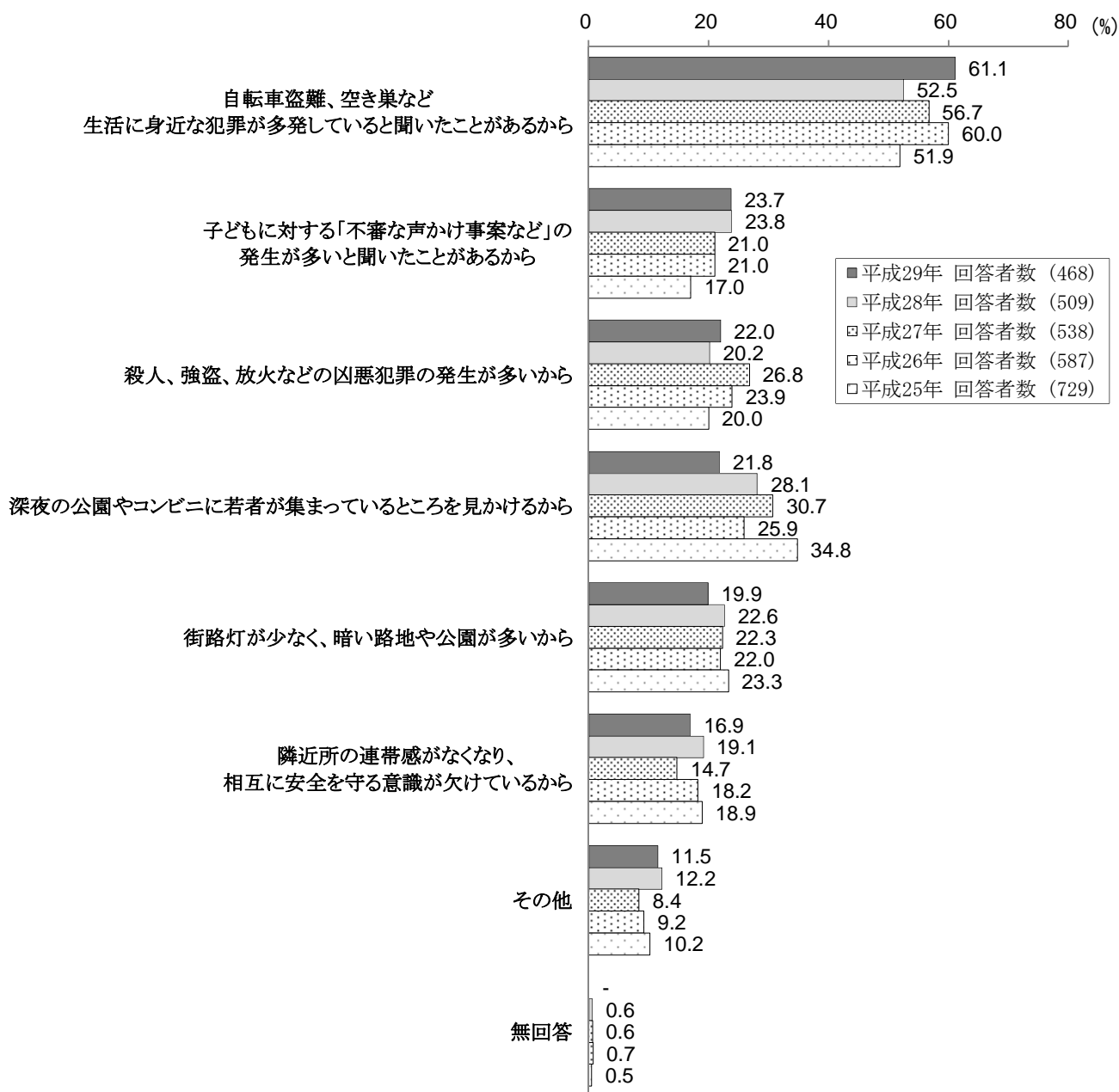


(6) 区内の治安が悪いと感じる点

■ “生活に身近な犯罪が多発していると感じた”が6割を超えて突出

問30で「3. どちらかといえば悪い」、または「4. 悪い」とお答えの方に
 問30-2 どのような点で治安が悪いと感じますか（○は2つまで）。

図7-6-1 経年比較／区内の治安が悪いと感じる点



※「自転車盗難、空き巣など生活に身近な犯罪が多発していると感じたことがあるから」は、25年度では「自転車盗難、空き巣など生活に身近な犯罪が多発しているから」。

※「子どもに対する『不審な声かけ事案など』の発生が多いと感じたことがあるから」は、25年度では「子どもに対する『不審な声かけ事案等』の発生が多いから」。

【悪い】と評価した人に、その理由を聞くと、「自転車盗難、空き巣など生活に身近な犯罪が多発していると聞いたことがあるから」が61.1%で最も高く、以下、「子どもに対する『不審な声かけ事案など』の発生が多いと聞いたことがあるから」(23.7%)、「殺人、強盗、放火などの凶悪犯罪の発生が多いから」(22.0%)の順となっている。

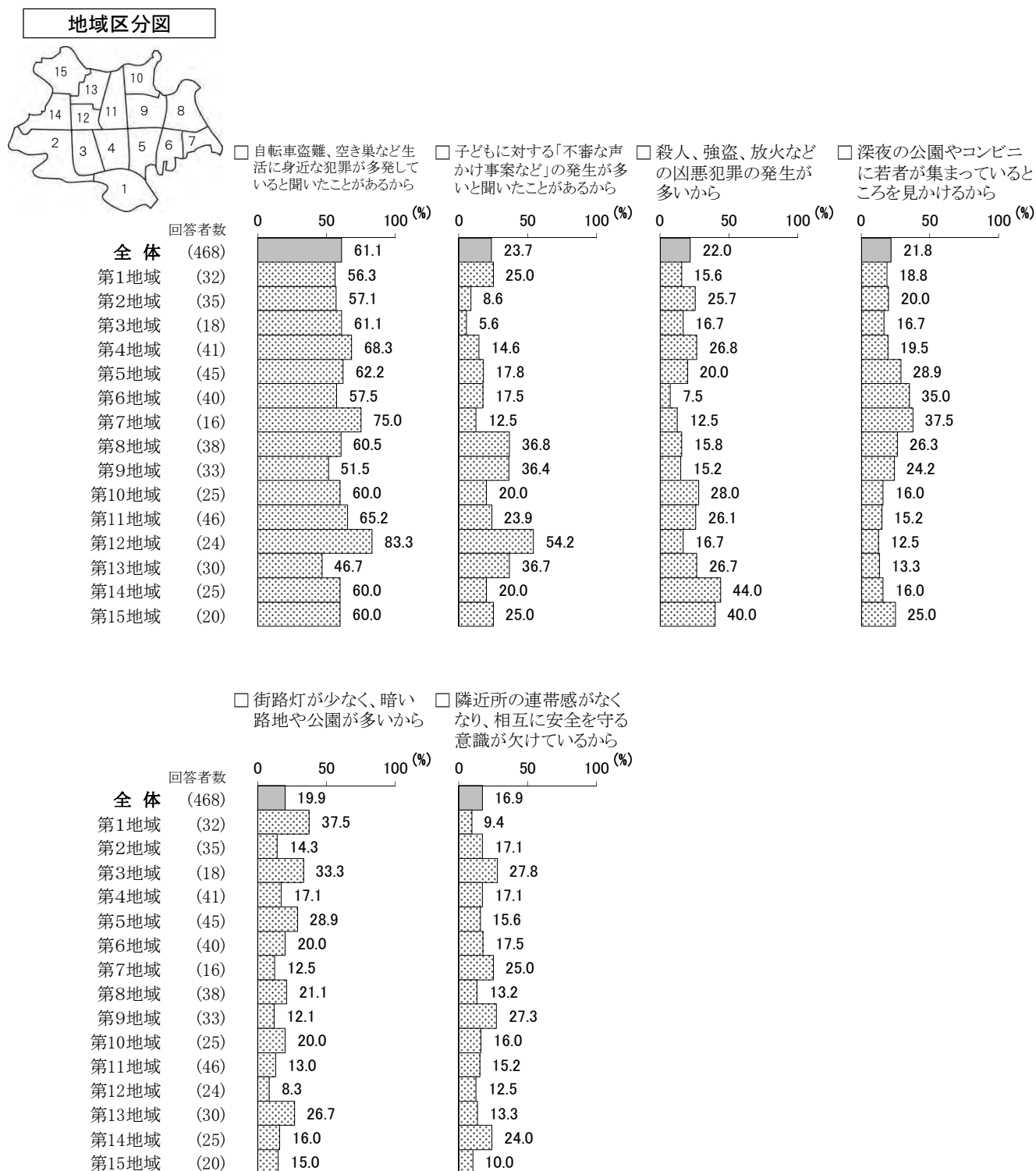
経年でみると、「自転車盗難、空き巣など生活に身近な犯罪が多発していると聞いたことがあるから」は今回61.1%と、平成28年の52.5%から8.6ポイント増加している。一方、「深夜の公園やコンビニに若者が集まっているところを見かけるから」は平成28年の28.1%から、今回21.8%へと6.3ポイント減少している。

第3章 調査結果の分析 〈ビューティフル・ウィンドウズ運動〉

地域別でみると、「自転車盗難、空き巣など生活に身近な犯罪が多発している」と聞いたことがあるから」は、第7地域、第12地域で、それぞれ75.0%、83.3%と、他の地域より高くなっている。

「深夜の公園やコンビニに若者が集まっているところを見かけるから」については、第6地域、第7地域で3割台半ばとなっている。また、「殺人、強盗、放火などの凶悪犯罪の発生が多いから」については、第14地域、第15地域で、それぞれ44.0%、40.0%と、他の地域より高くなっている。

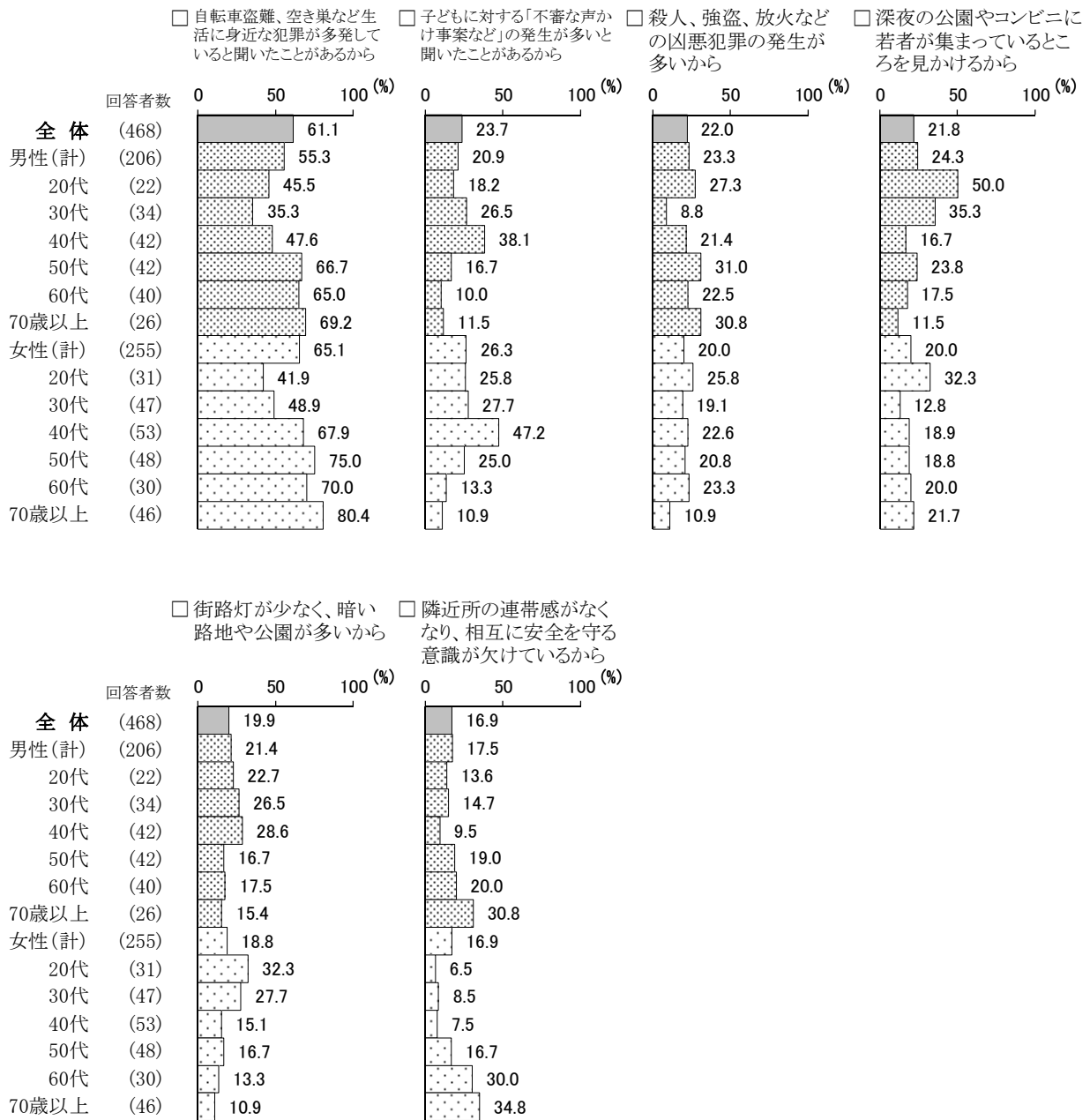
図7-6-2 地域別／区内の治安が悪いと感じる点



性別でみると、「自転車盗難、空き巣など生活に身近な犯罪が多発していると聞いたことがあるから」では、男性55.3%、女性65.1%となっている。

性・年代別でみると、「自転車盗難、空き巣など生活に身近な犯罪が多発していると聞いたことがあるから」は、男性の50代以上で6割台となっている。また、「子どもに対する『不審な声かけ事案など』の発生が多いと聞いたことがあるから」については、女性の40代で4割台半ばと高くなっている。

図7-6-3 性別、性・年代別／区内の治安が悪いと感じる点

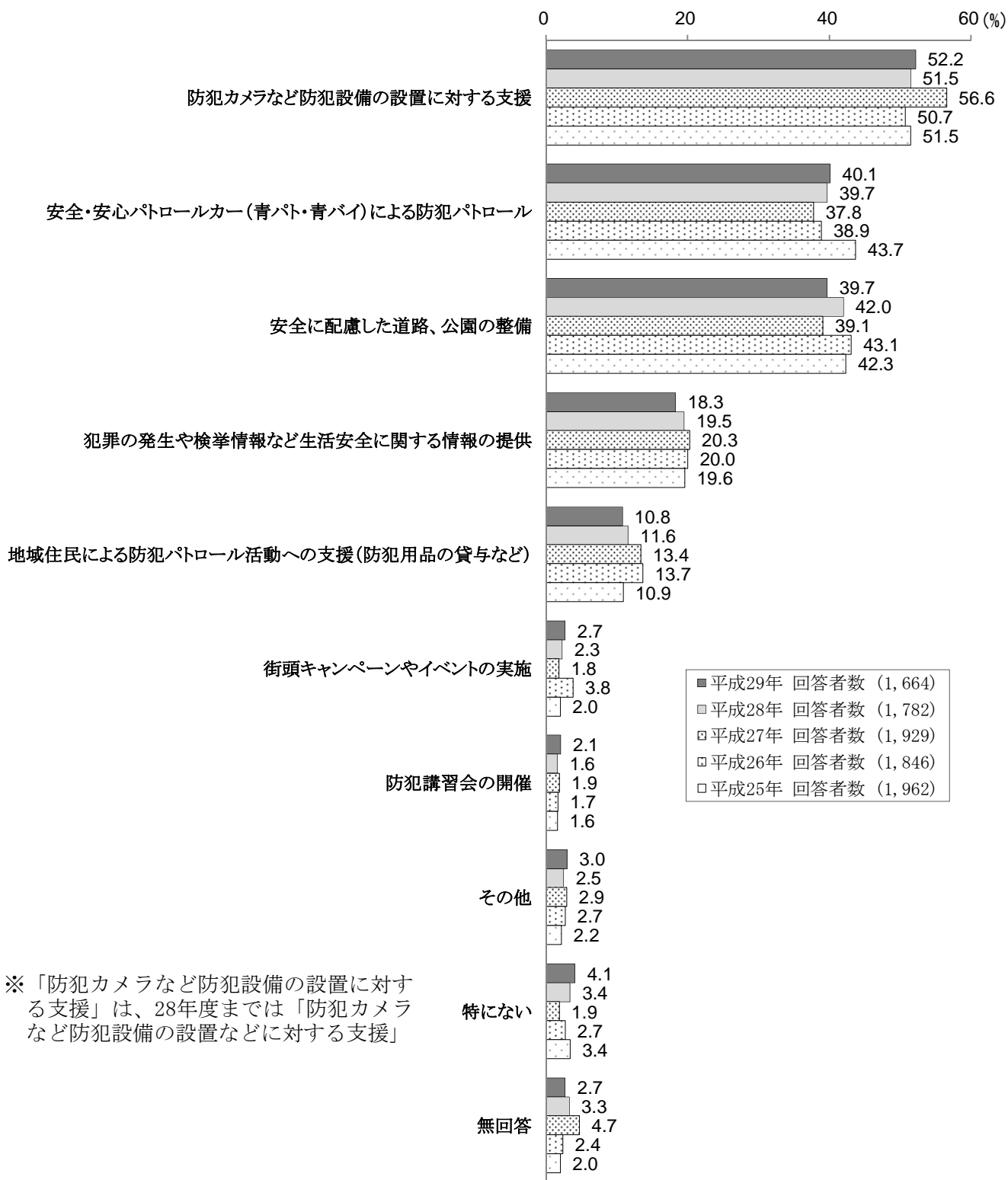


(7) 治安対策として区に力を入れてほしいこと

■ “防犯設備の設置に対する支援”が5割強、“防犯パトロール”“安全に配慮した道路、公園の整備”が4割前後

問31 あなたが、治安対策として足立区に特に力を入れてほしいと考えていることは何ですか。
(○は2つまで)

図7-7-1 経年比較／治安対策として区に力を入れてほしいこと

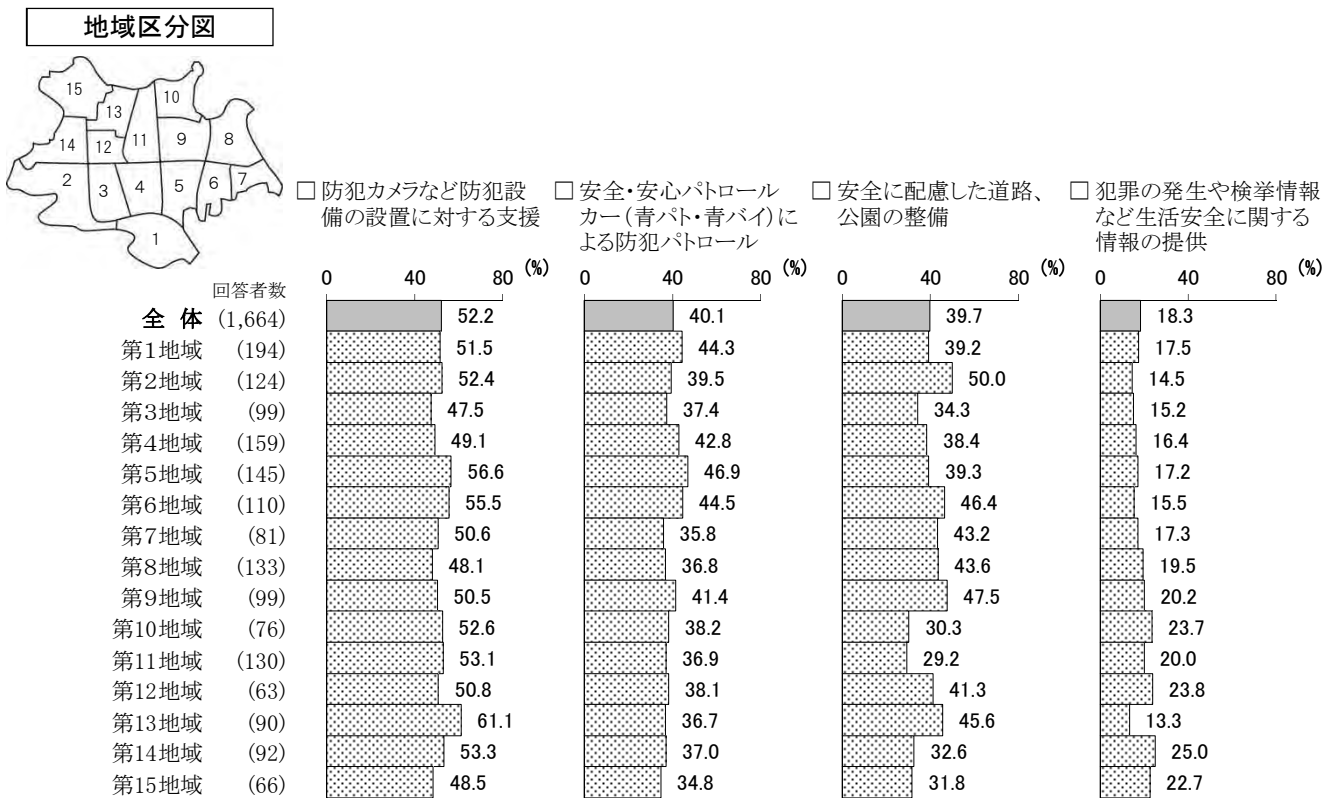


治安対策として足立区に力を入れてほしいこととして、「防犯カメラなど防犯設備の設置に対する支援」が52.2%で最も高く、以下「安全・安心パトロールカー（青パト・青バイ）による防犯パトロール」（40.1%）、「安全に配慮した道路、公園の整備」（39.7%）の順となっている。

経年でみると、「防犯カメラなど防犯設備の設置に対する支援」「安全・安心パトロールカー（青パト・青バイ）による防犯パトロール」「安全に配慮した道路、公園の整備」とも、横ばい状況にある。

地域別でみると、「防犯カメラなど防犯設備の設置に対する支援」は、第13地域で61.1%と、全地域中最も高くなっている。また、「安全に配慮した道路、公園の整備」は、第2地域で50.0%と、全地域中最も高くなっている。

図7-7-2 地域別／治安対策として区に力を入れてほしいこと／上位4項目



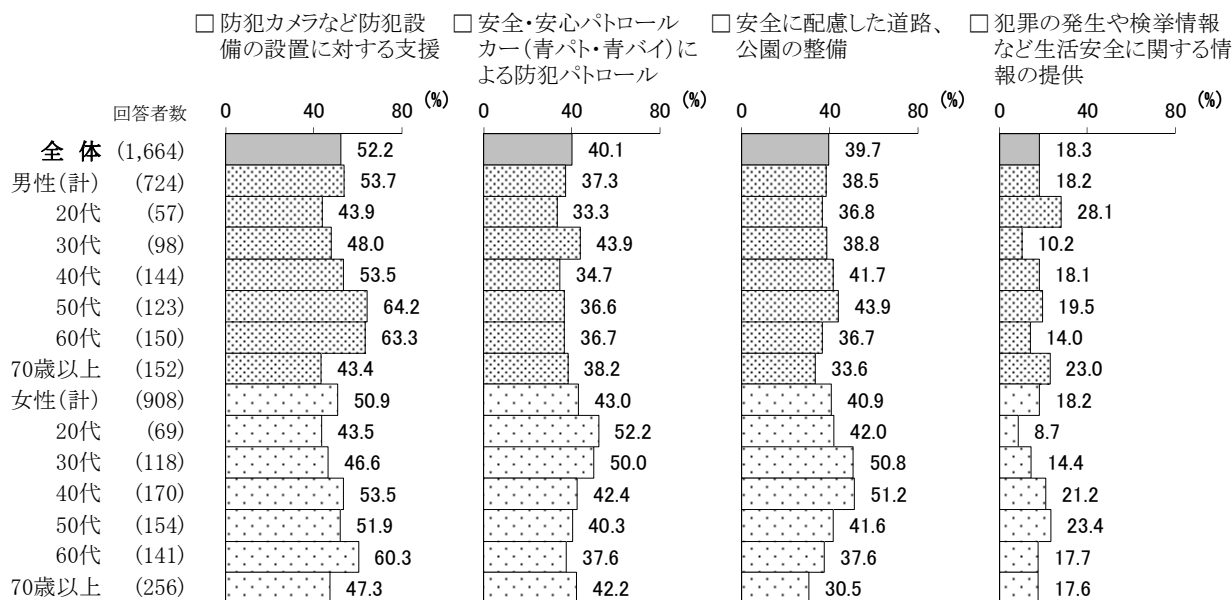
第3章 調査結果の分析 〈ビューティフル・ウィンドウズ運動〉

性別で見ると、女性では「安全・安心パトロールカー（青パト・青バイ）による防犯パトロール」が43.0%と、男性（37.3%）を上回っている。

性・年代別で見ると、男性では「防犯カメラなど防犯設備の設置に対する支援」は、50代、60代で6割を超えている。「安全に配慮した道路、公園の整備」は、40代、50代で4割を超えている。また、「安全・安心パトロールカー（青パト・青バイ）による防犯パトロール」は、30代で43.9%と4割を超えている。

女性では「防犯カメラなど防犯設備の設置に対する支援」が60代で60.3%を占めているほか、40代、50代でも5割を超えている。「安全に配慮した道路、公園の整備」は、30代、40代で、それぞれ50.8%、51.2%と高くなっている。また、「安全・安心パトロールカー（青パト・青バイ）による防犯パトロール」は、20代で5割を超えている。

図7-7-3 性別、性・年代別／治安対策として区に力を入れてほしいこと／上位4項目



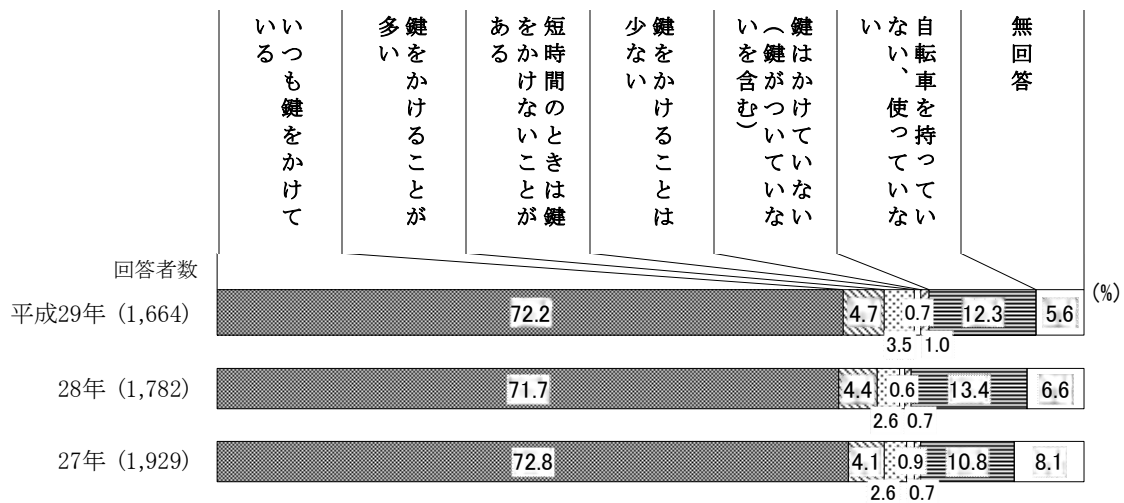
(8) 駐車時の鍵かけ状況

■ 「いつも鍵をかけている」は、外出先7割前半、敷地内6割と、傾向は変わらず

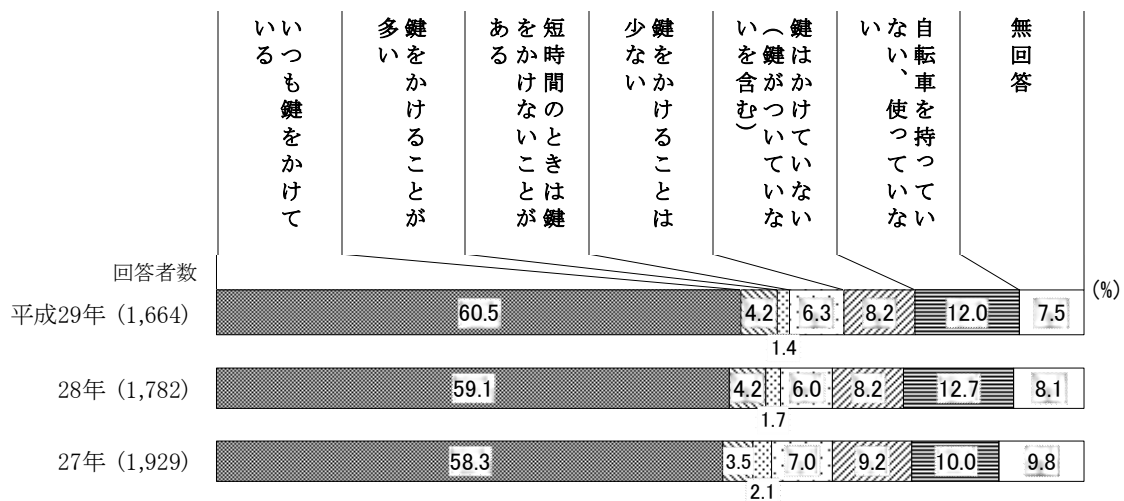
問32 あなたは、自転車を駐車するときには、自転車に鍵をかけていますか。
(○はそれぞれ1つずつ)

図7-8-1 経年比較／駐車時の鍵かけ状況

ア. 外出先で駐車するとき



イ. 自宅・マンションなどの敷地内に駐車するとき



第3章 調査結果の分析 〈ビューティフル・ウィンドウズ運動〉

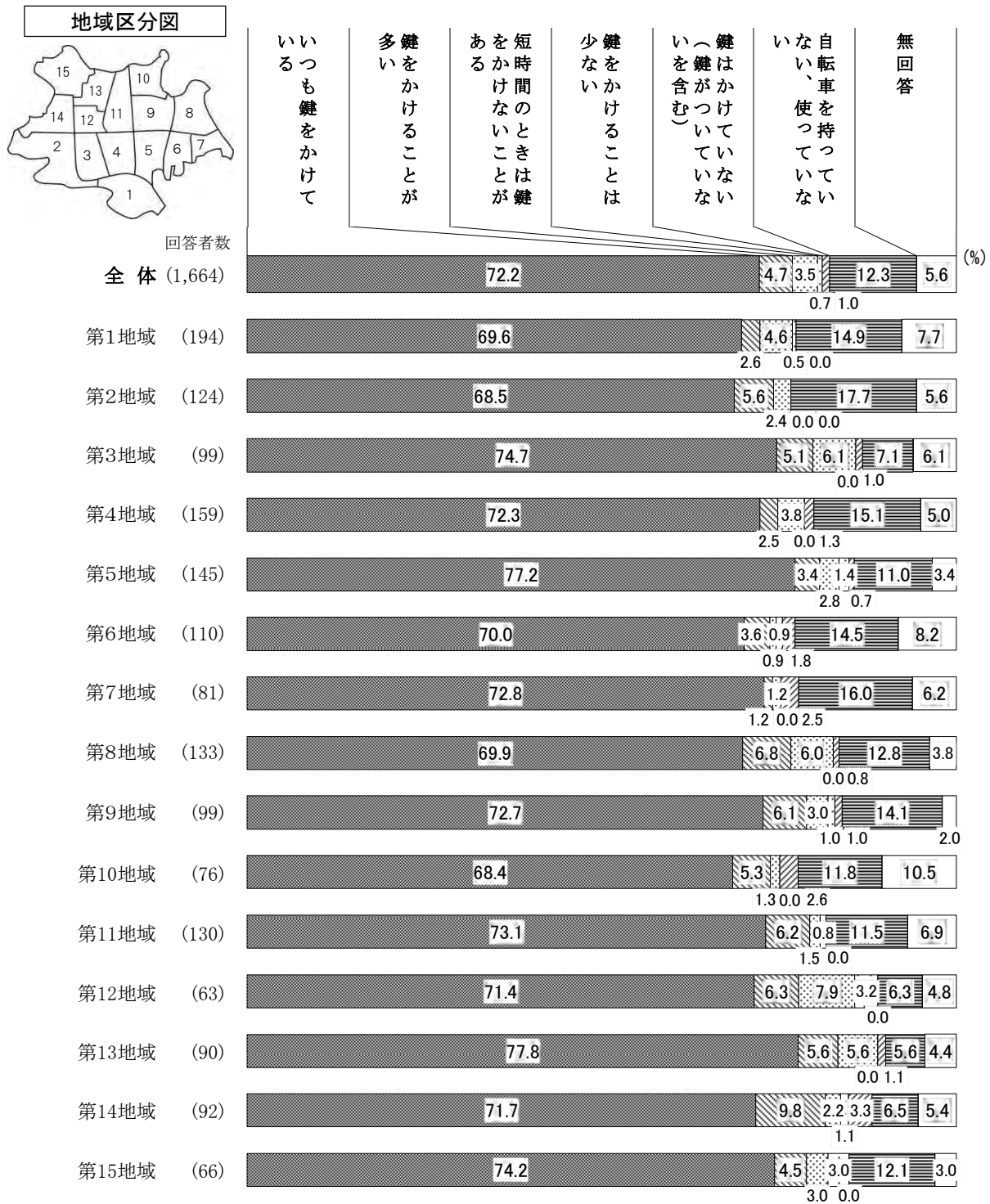
外出先で、自転車を駐車したとき、自転車に鍵をかけているか、については、「いつも鍵をかけている」が72.2%で最も高く、次いで「鍵をかけることが多い」(4.7%)となっている。一方、「短時間のときは鍵をかけないことがある」は3.5%、「鍵をかけることは少ない」は0.7%、「鍵はかけていない(鍵がついていないを含む)」は1.0%となっている。

自宅・マンションなどの敷地内に自転車を駐車したとき、自転車に鍵をかけているか、については、「いつも鍵をかけている」が60.5%で最も高く、次いで「鍵をかけることが多い」(4.2%)となっている。一方、「短時間のときは鍵をかけないことがある」は1.4%、「鍵をかけることは少ない」は6.3%、「鍵はかけていない(鍵がついていないを含む)」は8.2%となっている。

経年でみると、回答傾向に大きな変化はみられない。

外出先で、自転車を駐車したとき、自転車に鍵をかけているかについて、地域別でみると、15地域中10地域で「いつも鍵をかけている」が7割を超えている。

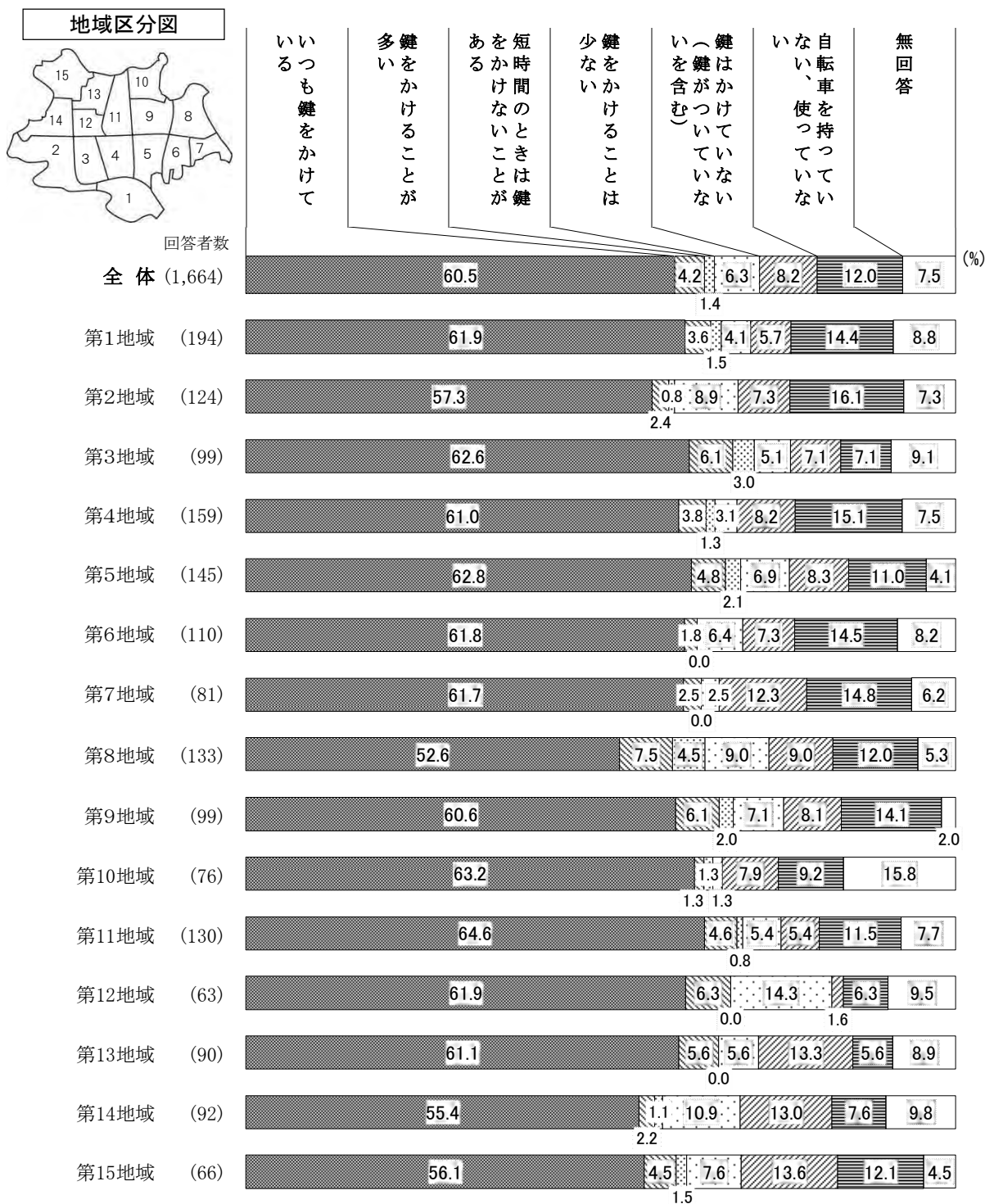
図7-8-2-① 地域別／駐車時の鍵かけ状況／外出先



第3章 調査結果の分析 〈ビューティフル・ウィンドウズ運動〉

自宅・マンションなどの敷地内に自転車を駐車したとき、自転車に鍵をかけているか、について、地域別でみると、15地域中11地域で「いつも鍵をかけている」が6割を超えている。

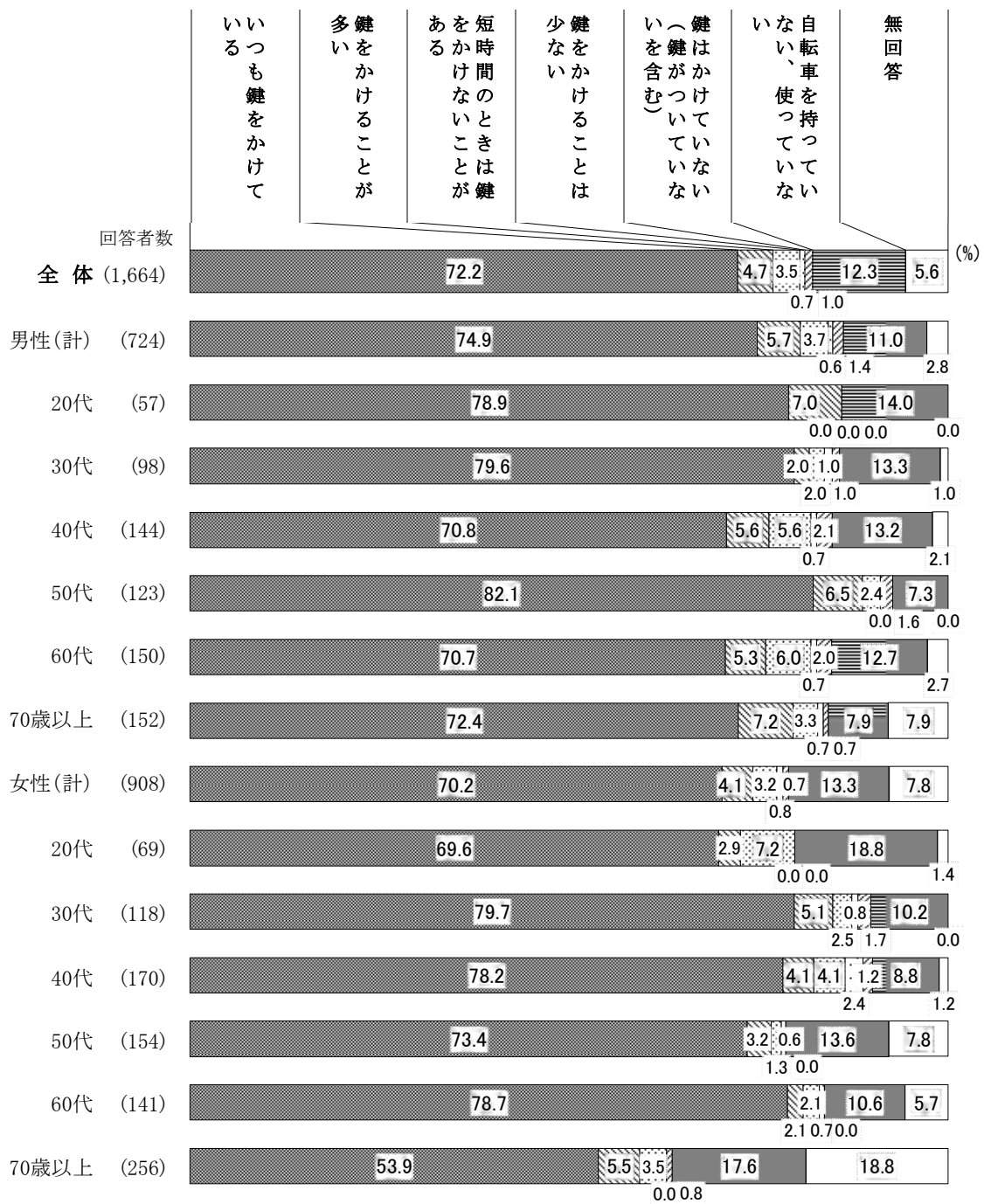
図7-8-2-② 地域別／駐車時の鍵かけ状況／敷地内



外出先で、自転車を駐車したとき、自転車に鍵をかけているかについて、性別で見ると、「いつも鍵をかけている」は男性74.9%、女性70.2%となっている。

性・年代別で見ると、70歳以上の女性を除くと、男女各年代とも「いつも鍵をかけている」が高くなっている。

図7-8-3-① 性別、性・年代別／駐車時の鍵かけ状況／外出先



第3章 調査結果の分析 〈ビューティフル・ウィンドウズ運動〉

自宅・マンションなどの敷地内に自転車を駐車したとき、自転車に鍵をかけているかについて、性別でみると、男性では「いつも鍵をかけている」が64.0%と、女性（57.9%）より高くなっている。

性・年代別でみると、男性では、20代、30代、50代で「いつも鍵をかけている」が7割前後となっている。女性では、30代、40代、60代で「いつも鍵をかけている」が6割を超えている。

図7-8-3-② 性別、性・年代別／駐車時の鍵かけ状況／敷地内

